

〒650-0024

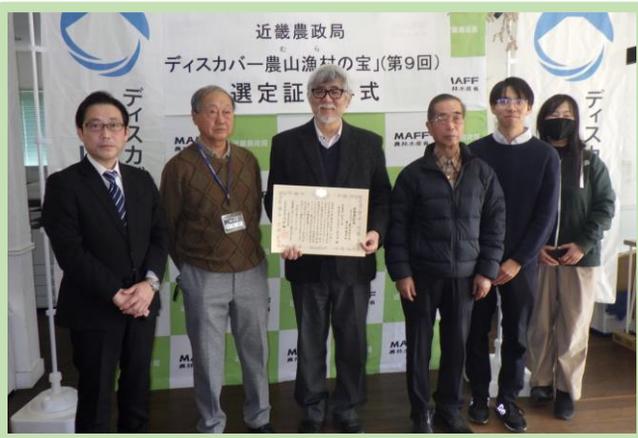
神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎

TEL:078-331-5924 Email:hyogo28\_hsatt\_kinki@maff.go.jp



## 近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 （第9回）の選定証を授与しました！

近畿農政局兵庫県拠点は、近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第9回）選定証授与式を開催し、コミュニティ・地産地消部門で選ばれた一般社団法人ため池みらい研究所（加古川市）と個人部門で選ばれた安達大樹さん（洲本市）に対して、選定証を授与しました。



一般社団法人ため池みらい研究所

一般社団法人ため池みらい研究所では、草刈りに悩む地域住民の課題を解消するため、公民学（行政・住民・大学）と連携した集落及び広域レベルで行う体制を整え、草刈りに取り組んでいます。

また、草刈りへの関心を高めるため、草刈りをスポーツ感覚で楽しむ「草刈りフェス」を開催し、若者を巻き込んだ関係人口の創出にも取り組んでいます。

安達大樹さん（Awaji369Farm 代表）は、在来種野菜の継承や自然栽培農法など、地域ならではの大切な価値を次世代につなぐため、農泊や農業体験に取り組んでいます。

また、地元食材を使った食体験や、伊弉諾（いざなぎ）神宮の神事、神楽など地域文化とのふれあいを通じて、地域の活性化にも力を入れています。

さらに農業を目指す人への経営指導や支援を行い、地域の担い手不足の解消にも取り組んでいます。



安達大樹さん（前列左）



意見交換の様子

選定証授与式後は、意見交換を行い、取組の経緯や、今後の活動の展開方法などのお話を伺いました。

近畿農政局選定地区一覧は

こちら ⇒ <https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/attach/pdf/251127-3.pdf>

キラ☆  
現場にて

## 新たな栽培方法に取り組む青年農業者！

<豊岡市 植田 蒼空(そら) さん>

豊岡市但東町で認定新規就農者として、施設・露地野菜などを栽培する植田蒼空さんにお話を伺いました。



【植田 蒼空さん】

### ～農業を始めたきっかけ～

父が経営する(有)植田農園での水稲栽培の農作業を小さい頃から見ていたことから、農業に興味を持ち、但馬農業高等学校に入学しました。農業高校卒業時には、さらに農業への思いが募り、農業へ従事することを決意し、令和3年4月の就農時から父が経営する農園の施設やほ場の一部を借り、父が栽培する水稲とは別の野菜栽培で独立して経営を開始しました。

### ～どのような取組をされていますか～

施設栽培は、父の水稲育苗後のハウス5棟を利用して、但馬で最初の全農「ういずOne」システムを採用。同システムはポット鉢等を用いた養液栽培であり、春から秋場にかけて、同システムでピーマン、きゅうり及び中玉トマトを栽培し、冬場は、ほうれん草を栽培しています。

昨今の高温によるピーマンの枯死やトマトの落花等に対応するため、水持ちを良くするため下部にビニールシートを敷くなどの工夫もしています。

養液栽培は、①土作りが不要で連作障害の心配がない、②普段の靴で動け、汚れない、③女性でも容易に作業ができる、④設備の設置が自由でかつ撤去も容易にでき、育苗ハウスの有効活用が図れるなどのメリットがあります。

施設栽培以外に露地栽培で、とうもろこし及びさといもを栽培するほか、3年前からは朝倉山椒の栽培にもチャレンジしています。

収穫した野菜は、JAに出荷、地元の直売所及び消費者に直接販売しています。



【養液栽培のきゅうり】



【経営するハウスの一部】

### ～今後の課題・展望～

施設内での暑さ対策や露地栽培でのとうもろこしなどへの獣害対策が課題です。

今後は、栽培方法を改善するなど収量の増加を目指し、地域の方々においしいと言ってもらえることを手ごたえとして栽培したいと考えています。



【冬場のほうれん草】

## 解説！ 基本計画

農村関係人口をどのようにして拡大するのですか。

農村関係人口の拡大に当たっては、農村への関心や関わりを持った者が、都市部にいながら農産物の購入などで農村に関わる形から、実際に農村に拠点を移す形に至るまで、様々な方法を通じて農村への関わりを深めていき、農村の支えとなる人材の裾野を拡大する必要があります。

このため、農村の振興や所得向上に取り組んでいる優良事例の普遍化、棚田、農業遺産等の歴史的・文化的背景、景観等を含む農業の有する多面的機能の理解の醸成のためのWEBサイトやSNS等による情報発信や体験等を通じ、農村のファンともいべき「農村関心層」を創出していきます。

KPI

農村関係人口の増加に向けた取組が行われている市町村  
675市町村（2024年度）→1,190市町村（2030年度）

副地方参事官



## 神戸大学で学生とのランチミーティングを行いました！

1月30日(金)に神戸大学バイオメディカルメンブレン研究・オープンイノベーション拠点棟(神戸市)にて、学生との意見交換会(ランチミーティング)を開催しました。



(集合写真)

『食』と『農』との関わり方を考える」をテーマに、学生の食や農への意識、農村地域と多様に関わる人々(関係人口)の創出のために私たちができることについて、意見交換を行いました。

ランチミーティングには、神戸大学のほか、神戸松蔭大学、神戸学院大学の学生が参加し、農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室や近畿農政局の若手職員、JA兵庫中央会とともに活発な意見交換が行われました。

ランチには、兵庫県産食材を使った地産地消のお弁当をいただきました(写真右)。



(地産地消弁当)



(ランチミーティングの様子)

参加した学生からは、「他大学の学生が考える『食』と『農』や、関係人口の創出方法について知ることができた」「今後のゼミ活動でも積極的に地域での活動を行っていきたい」との声がありました。

ランチミーティング後は、神戸大学農学部の授業のコマをお借りして、農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室の職員が、日本の食料安全保障について講義を行いました。



(講義の様子)



## 環境保全に配慮した農業に取り組む農家さんのご紹介

### 取組の紹介

### Awaji369farm 安達 大樹さん —地域・人・自然に寄り添う持続可能な体験型農園—



(安達さんご夫妻)

都心での暮らしを見直す中で、淡路島の豊かな自然と人々の営みに触れたことをきっかけに、2021年家族とともに移住し、Awaji369farmを開設しました。

当農園では、地域の耕作放棄地を再生し、農薬・化学肥料を用いない自然栽培に取り組んでおり、地域の風土に適した「固定種・在来種の野菜」を栽培しています。

また、淡路島の自然・食・文化を体験できる体験型農園で、都市部の農業に関心のある親子連れや近隣の小学校、企業の福利厚生研修プログラム等さまざまな人が来園されています。さらに、移住希望の若者を受け入れ、農業研修も実施しています。

固定種・在来種は、味がとても濃く、自然栽培だからこそ作れる野菜本来の美味しさを皆様にお届けできればと思っています。今後は、水張が不要で比較的手間のかからない陸稲米の栽培にも力を入れて、防災食などに活用できたらと考えています。

当農園に人々が集い、新たな交流が生まれ、笑顔の絶えない幸せな時間を過ごせる場を皆さんと共に創り、進化し続ける農園を目指します。



(こだわりの野菜)



(安達さんのお子さんと飼育中のヤギ)

注目!



[www.awaji369.com](http://www.awaji369.com) Instagram

#### 主な経営概況

- 農地 200 a (栽培品目)
- ・たまねぎ
- ・さつまいも
- ・季節野菜等

～地域の話～

## 神戸市東灘区 都市農園「シェラトンファーム」 ～農作業を通じた地域コミュニティの活性化～



【ホテルに隣接する施設の屋上にある貸農園】

シェラトンファームは、神戸ベイシェラトンホテル&タワーズの北側にある商業施設の使われなくなっていた屋上花壇を有効活用するため、ナチュラルリズムファーム（神戸市西区の有機農家）の大皿さんの提案をもとに、令和3年3月に開園した貸農園です。

この貸農園は、シェラトンホテルとナチュラルリズムファームが協力しながら運営しており、都市部にいながら土に触れられる場を提供し、農作業を通じた地域コミュニティづくりを目指しています。



【元気に育っている野菜】

農園では、ファミリーからシニア層まで幅広い世代の利用者が野菜や花の栽培を楽しんでいます。全区画が有機栽培で、毎週、有機農家からサポートを受けられるので、初心者でも安心して取り組みます。

年2回の交流イベント等を通じて利用者同士の繋がりが生まれ、栽培する野菜を相談したり、種子を交換したりと、自然と交流が育まれています。年4回、農家と消費者が直接交流できるファーマーズマーケットも開催しています。



【ホテル内のマルシェ】

また、シェラトンホテルではフードセレクトショップ「シェラトンマルシェ」を運営しています。店内には兵庫県産を中心に四季折々の農産物や地元食材を使った加工品が並び、ホテル利用者の方はもちろん、地域の方も新鮮な農産物等を求めて来店されています。

シェラトンホテルの西橋さんは、生産者と地域を繋ぐ架け橋として、これからも地域に寄り添った取り組みを続けていきたいとおっしゃっていました。



神戸ベイシェラトンホテル&タワーズの西橋 悦さん、ナチュラルリズムファームの大皿 純子さん（左から）

### シェラトンファーム

場所：神戸市東灘区(六甲アイランド内) 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ北側「リバーモールイースト」屋上  
面積：9㎡×16区画



← 詳細はこちら

## オーガニックビレッジ宣言（稲美町）

令和8年2月8日（日曜日）、JA兵庫南にじろふぁ～みんにおいて、稲美町中山町長が「オーガニックビレッジ」を宣言しました。

稲美町では、地域農業の力を生かし、学校給食に提供する特別栽培米「万葉の香」を生産しています。子どもたちの健やかな成長と未来を見据え、環境に配慮した持続可能な農業を推進することとしています。



### 地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

TEL : 078-331-5924 Email:hyogo28\_hsatt\_kinki@maff.go.jp